

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第 4 号 平成 20 年 5 月 10 日

本大会有終の美飾れず！ 残すはリーグのみ・・・

敗者復活ならず！



5月10日印西市、東京電機大グラウンドにて、1ヶ月振りのゲームとなる、2007-8 KSCトーナメント敗者復活1回戦を行った。4戦連続雨天順延かと思う、非常に天候が気になる本日は、横浜集合時点で、既に雨、東京に入っても雨、しかし、千葉に入ってから、雲空には変わりないものの、未だ降雨の形跡なし。「良かったー、無駄足にならず」てな気持ちでゲームが始まった。今日は後攻、先発はキャプテン政司、初回は3者凡退、3回までランナーを出すものの、0封という好調な滑り出しであった。ただ、3回まで1安打の割には、四球でランナーを出す投球が気になった。恐らくウンの関係か？と思われる。我が方の攻撃は本日も天候同様湿ったまま、ましてや現在首位打者“泉”も迂闊に風邪引き君で、冴えの無い打席であった。ゲームが動いたのは4回、四球で出したランナーが2盗、その後レフト前に運ばれ先制を許してしまった。我がチームは先制されると弱い面があるので、嫌いな感じした。5回も先頭打者を四球で出し、その後2盗、後続内野ゴロの間に3塁へ、続く打者ライトフライでタッチアップとノーヒットで2点目も献上した。その後はランナーを出すものの、特別な守備の乱れもなく、点を与えず最終回7回を迎えた。先頭打者をショート内野安打、その後2盗、後続を空振り三振に取るものの、センター前に運ばれ3点目を与えた。結果的にはこの点が命取りとなり、今シーズンで閉幕する本大会を予選で敗退してしまった。しかし、ランナーを溜めても動じないキャプテンはさすがにキャプテンであった。そんな湿り打線の我が攻撃は、最終回4番竜のクリーンヒットを皮切りに、結果的にラン&ヒットとなった、キャプテンピッチャーゴロを、相手のFCを呼ぶ迷走塁で1アウト2、3塁と得点チャンスを企てた。次打者は目下首位打者泉がセカンド強打、この打球が野手の焦りを呼び2塁からもキャプテンが生還、一挙2点を挙げた。サヨナラのチャンスが続く状態で、打者那須が三遊間ヒット、ベンチは大盛り上がり、オイシイところに目下無安打監督松下、しかし、打球は投手を越すものの、運悪くショートに阻まれ、今シーズン初登場の翼が、凡打に倒れ、残念ながら、ゲームセットとなった。負けはしたものの、ランナーを出しても慌てなかった今日の守備は、大きな収穫だと思う。後は、打線の復活&投手陣の育成を感じた本日のゲームであった。